

2025年4月17日現在

タウンホールCOPのための ステークホルダー・マッピング・ガイド

まずは目標設定から始めましょう

タウンホールCOPの目標と範囲を明確に定義し、関係するすべての対象グループを特定しましょう。

公平性の要素を含めるうえで重要なのは、対象となるグループを適切に特定し、地域住民の日常生活の実態をしっかりと理解することです。社会的に公正な気候対策の基本的な考え方は、気候変動の悪影響をもっとも強く受けている人々や、気候にやさしい取り組みを实践するうえで最も大きな困難に直面している人々に対して、的確な支援を提供し、「いつもの顔ぶれ」以外のグループにも参加の機会を広げていくことにあります。

ステークホルダーリストを作成する際には、以下の点を考慮してください。

タウンホールCOPは、地域の気候行動に関する国民的な認識を高める重要な機会となります。地域レベルの取り組みを紹介することで、このプラットフォームは気候問題に対処する上での地域の努力の重要な役割を強調し、それらが正当に評価されることを保証します。また、地域の行動が最新の国別貢献（NDC）の実施にどのように、そして直接的に貢献できるかを国レベルの関係者に伝える役割も果たします。

この対話を真に効果的なものにするためには、地域の中核を成す地方政府の代表者、市民社会、民間セクター、若者など、多様なコミュニティメンバーの参加が不可欠です。さらに、地域の取り組みと国の政策との橋渡しをするために、政府そのものや関連機関、全国的な団体からの国レベルの代表も重要です。

これらのステークホルダーが誰であるかを特定するために、まず以下の質問に答えてみましょう。

- **気候変動によって影響を受けるのは誰か？**
 - どのコミュニティ、グループ、あるいは個人が気候リスクの影響を最も受けているか？
 - 気候変動への対応の仕方によって、誰が影響を受けるか？
- **地域の気候行動に関わっているのは誰か？**
 - あなたのコミュニティで気候関連の取り組みに積極的に関わっている主要な団体、グループ、または個人は誰か
 - 地域の気候活動を支援している既存のネットワークや協力体制は何か？
- **誰が対話から抜け落ちているか？**
 - 気候変動の議論から歴史的に排除されてきたグループはどこか？
 - マイノリティグループ、低所得コミュニティ、先住民など、社会的に疎外されている人々を意味のある形で包摂するにはどうすればよいか？
 - なぜ特定のステークホルダーが関与していないのか？その障壁にどう対処できるか？
- **参加者をどうやって拡大できるか？**
 - どのようなネットワーク、パートナーシップ、アウトリーチ戦略が、より幅広いステークホルダーの関与を促進できるか？
 - 若者、草の根組織、代表性が低いコミュニティなど、多様で公平な代表性をどう確保できるか？
 - 気候政策や行動の形成に最も影響力を持つステークホルダーは誰で、彼らは他のグループとどのように協力できるか？
- **信頼関係と長期的な協力関係の構築**
 - ステークホルダー間で信頼を育み、持続的な協力を促すためにどのようなステップを踏むことができるか？

次のステップ

これらの回答が集まったら、主要なポイントを明確に伝えたくて参加の招待状を送付しましょう。透明性と長期的な協力関係の重要性を強調することが大切です。